

研修テーマ 情報モラル指導力を高める

本テーマのねらい

- ・電子メールやチャット、掲示板等のコミュニケーション手段について、擬似体験をとおしてその仕組みの理解を深め問題点を把握する。
- ・「ノーテレビデー体験」を実践することで、生活リズムを向上させることの重要性を再認識する。
- ・インターネット等による有害情報が、子どもたちの行動や考え方、時には死生観にまで強い影響を及ぼしていることに鑑み、インターネット等の利用に当たったのルールやマナー等への理解を深める。

内容

< >インターネット上の有害情報等への対応	
<p>ね ら い：インターネット上の有害情報の氾濫等子どもたちを取り巻く社会環境の変化に対応すべく、教員自身はその危険性を実感し、その課題の解決に対する指導力の向上を図る。また、電子メールの利用に関するトラブルの事例をとおして、「自分を大切にできる心」や「家族とのコミュニケーション」がトラブルを回避する重要なキーとなることを実感する。</p>	
<p>所要時間：3時間(分割して実施することも可能)</p>	
<p>準備物：パソコン、いす、机、筆記用具、タイマー、ワークシート</p>	
内 容	
活動内容	留意点
(注) 太字は研修リーダーの台詞	
<p>00:00</p> <p>1 ねらいと留意点について説明する。 「最近、重大な問題行動の背景にインターネット等による有害情報が影響している事例が発生しています。そのような状況を踏まえ、本日の研修では、子どもたちに情報社会でのルールやマナーの指導をとおして、『自分を大切にできる心』や『人を思いやる心』を実感させるような指導についての研修を行います。」</p>	<p>研修のねらいについて簡潔に説明する。 家庭におけるパソコンや、子どもたちの携帯電話の保有率は近年急激に上昇してきている。そのような中で子どもたちが意識しないうちに有害情報に触れてしまう場面が増えつつある。メール等電子メディアの利用方法を誤れば、自分を傷つけたり、周囲の人を悲しませたりする危険性がある。情報社会におけるルールやマナーの学習をとおして、「自分を大切にできる心」「人を思いやる心」の大切さを実感させることが必要である。</p>
<p>00:05</p> <p>2 研修用視聴覚教材を観る。 「出会い系サイトの罠」(約40分)^(参考2) (企画 警察庁生活安全局少年課) 「まず、電子メールやチャットに潜む危険について考えます。今からビデオを観てもらいます。視聴後、グループで感想を交換し合ってもらいます。その中で電子メディアに潜む危険性や問題点を出し合うことで、子どもたちに何を伝えていかなければならないかを共有したいと思います。それではビデオをご覧ください。」 (教材視聴後) 「このビデオの要点は、 有害情報の危険性に対する認識 個人情報に対する認識 問題発生時に家族に相談する等の対応 情報発信者の責任</p>	<p>研修用視聴覚教材をとおして、電子メール等の電子メディアに潜む危険を知る。 「出会い系サイト」では、インターネットの特性により、面前の直接のやりとりでは言いにくい事も、ストレートに表現できたり、現実離れた内容を伝えたりすることも容易である(匿名性・仮想性)。さらに、多数の者に対して一斉にメッセージを伝えることができる(瞬時性・大量性)という機能を有している。この機能により、「出会い系サイト」を犯罪に利用しようとする者が、容易に対象を見つけ出すことができる。このような「出会い系サイト」の危険性を理解するために、ビデオを視聴する。 要点を記入したワークシート^(資料5)を各グループに1枚配布し、グループでの話し合いの柱となることを明確にする。</p>

等であったと思います。この後グループでビデオを観た感想や問題だと思ふ点を交換し合ってください。」

00:45

- 3 グループで討議をする。
「近くの人同士で4人のグループをつくってください。人数が余れば5人グループでも結構です。」

「今見てもらったビデオの感想を各グループで交換し合ってください。ワークシートに書かれた要点を中心に話し合いを進めてください。また、ビデオの中で分からない用語等がありましたらそれもあげてください。」

「ワークシートに記載されていること以外にも重要なポイントがあれば、ワークシートに記入し、意見交換を行ってください。」

「最後に、グループごとに話し合った内容を全体に発表していただきますので、発表者を決めておいてください。発表の時間は2分程度を予定しています。それでは話し合いを始めてください。」

01:05

- 4 グループの話し合いの内容を全体に発表する。

「先ほど各グループで話し合った内容を発表してもらいます。各グループの発表者の方は2分程度で発表してください。その際に、子どもたちに何を伝えるべきなのかという視点があればより良いのではないかと思います。」

01:15

休憩 10分

01:25

- 5 Web版情報モラル教材を活用する。
・独立行政法人教員研修センター
「情報モラル教材2005」
<http://sweb.nctd.go.jp/2005/index.htm>
(他の関連Webサイト例)(参考3)

「電子メール、掲示板、チャット等を擬似体験したいと思います。そのことによって、様々な問題事例とその対応例について考えます。」

「ここでは『情報モラル教材2005』を利用します。この教材には、ファイル交換ソフトに潜む問題点、無線LANを使用する際の注意、携帯電話による出会い系サイトアクセスの問題、ウイルス対策の手引き、ウェブログ開設のトラブル、カメラ付き携帯電話の

近くの者同士が、4～5名1グループで輪になって座る。

先にあげた要点にしたがって感想を交換し合うことによって、電子メディアに潜む危険を把握する。また、どの子どもにも起こりうる事象であり、特別な出来事ではないことを認識し、教員自身が子どもたちに的確に指導することの必要性を実感する。

ワークシートの要点についてグループでの話し合いを進める。また、自分の身の回りにある事例も出し合いながら意見交換を行う。ビデオの中で分からない用語がある場合はその解説も行う。

発表者とワークシートへの記入者をグループの中で決めるように指示する。

感想を述べ合うだけでなく、問題点を明らかにし、それを全体で共有できるような発表となるように促す。

インターネット接続可能なパソコンを、教員一人に1台準備しておく。インターネットへの接続環境がない場合には、以下のサイトからダウンロードしたものを各パソコンにインストールして利用することも可能である。

<http://sweb.nctd.go.jp/kyouzai.html>
教員自身が、電子メールやチャット機能やそれに伴う事例を擬似体験することによって、様々な問題事例とその対応例について考える。

具体的に学習の内容や体験の順序を指示し、活動が焦点化されるように留意する。

「情報モラル教材2005」には多くのコンテンツが含まれているが、ここでは問題を焦点化するために「出会いメール」や「チャット」、「掲示板」に絞って学習や体験を進める。

マナー等最近顕在化してきた問題も含まれています。」
 「ここからは、パソコンでWeb教材を使って進めていきます。学習や、体験の手順を次に説明します。実際の画面を見ての操作については別紙(参考4)を参照ください。
 「体験から学ぶ」「事例を体験する」
 「事例から学ぶ」「事例を見る」
 「体験から学ぶ」「機能を体験する」
 「授業素材」「授業素材を見る」
 では、様々な事例を擬似体験することができます。では掲示板、オンラインショップ等の機能を試すことができます。
 では実際の授業の展開例を見ることができ、後の指導計画作成のヒントとすることができます。それでは実習を進めてください。」

01:50

6 グループ単位で指導計画を作成する。
 「ただ今から、本日の研修で利用したビデオの内容や、Web教材をもとにして、子どもたちに有害情報の危険性を認識させ、メールやチャット等の電子メディアの利用に関するルールやマナーを育てることを目的とした指導計画を作ります。また、『自分を大切にする心』『人を思いやる心』の大切さも伝えていきたいところです。今後実際に子どもたちに指導することをイメージしながら作成してください。」
 「一例をあげます。
 子どもたちへのアンケート実施
 視聴覚教材の提示
 視聴後の感想交換
 Web教材による体験学習
 体験学習後の感想交換
 実践に向けてのまとめ
 このうちのどれか1つの学習に焦点を当てて作成していただいても結構です。グループで1つ作成してください。」
 「後の全体での発表はポスタープレゼンテーションの形で行います。配布いたします模

(活用例)
 ・独立行政法人教員研修センター
 「情報モラル教材2005」
<http://swab.nctd.go.jp/2005/index.htm> を開く。
 「目的別に題材を探す」「出会いメール」
 「思いがけない請求がきた!」
 「突然のメール失礼します。」
 「友だち探しチャット」
 「目的別に題材を探す」「偽りの自己紹介」
 「会ってはいけない出会い系」
 「知らない人からのメール」
 「偶然出会ってしまう有害サイト」
 「掲示板」「チャット」
 ~ をとおして、メールやチャットでは匿名性が高く、悪用すれば他人になりすましたり、偽りの情報を流したりすることや、巧みな手口で個人情報を引き出したりすること等が容易にできることを体験する。
 「目的別に題材を探す」
 「インターネットの出会いのページで見知らぬ人に会う」
 「携帯電話を活用するときの心構え」
 「チェーンメール等問題のあるメール」
 (注)文中の「」は、リンクをたどる順序を示す。

子どもたちに指導する場合、教員は事前にWebのリンクをたどり確認をしておく。

電子メディアに潜む危険を認識させるとともに、子どもたちの情報モラルの向上を図る指導計画を作成する。
 例をあげることで具体的なイメージをふくらませる。
 作成に当たっては、子どもの興味を引くだけになったり、逆に恐怖感だけを植えつけるような指導になることのないように注意する。
 また、メール等電子メディアの利用の仕方を間違えれば、自分を傷つけ、周囲の人を悲しませる結果になってしまうことを理解させることが必要である。そのような指導をとおして、「自分を大切にする心」「人を思いやる心」の大切さを実感させることのできる指導計画の作成を心がける。
 情報モラル全般にわたるものではなく、本日の研修内容に沿い、学習内容を焦点化したものとなるようにする。

<p>造紙に指導計画を作成してください。その中には、学習や体験の内容やそこで子どもたちに気づかせたいこと、身につけさせたいこと等もご記入ください。図で表していただいても結構です。」</p> <p>02:25 7 全体討議をする。 「今から各グループで作成した指導計画を発表してもらいます。各グループで発表者を決めていただき3分程度で発表してください。」</p> <p>02:55 8 まとめをする。 「本研修のねらいは、インターネット上の有害情報等、子どもたちを取り巻く社会環境の変化に対応すべく、教員自身がその危険性を実感し、有害情報等の新たな課題に対する指導力の向上を図ることでしたが、いかがだったでしょうか。」 「本日作成していただいた指導計画をもとに子どもたちへ実践する際には、子どもたちの発達段階や実態に応じた活動になるようにすること。カリキュラムへの位置づけをすること。子どもの興味をひくだけの指導に終わらないこと等、十分に配慮する必要がありますが、ぜひ本研修の体験を生かしていただき、子どもたちにインターネット等の利用に当たってのルールやマナーを明確に理解させ、『自分を大切に作る心』『人を思いやる心』を育てていっていただきたいと思います。本日はご多忙の中ありがとうございました。」</p> <p>03:00</p>	<p>ポスタープレゼンテーションのイメージができるように説明をする。</p> <p>グループ討議の内容をもとに全体で討議する。 ポスタープレゼンテーションの形で発表を行う。1グループの発表後に、全体での意見交換の時間をとる。</p> <p>本研修で学んだことを全体で確認する。</p>
---	--

(参考2)『出会い系サイトの罠』2004(企画 警察庁生活安全局少年課:約40分) あらすじ
誕生日に両親からはじめて携帯電話をプレゼントされた、女子高生の「愛」。真面目な「愛」は、友人の「ケイコ」が“メル友”に会うために出かけていくのを、最初は冷めた目で見つめていた。
ところがある日、無差別に送られてきた懸賞サイトにアクセスしたことがきっかけで、出会い系サイトを知ることになる。モデルの「じゅん」と称する男性と興味半分に出会ってしまった「愛」。お酒を勧められるままに飲んだ彼女は「じゅん」に乱暴され、心に深い傷を負う。そのうえ、有料サイトにアクセスしたことがきっかけで、不当なお金を請求され、追いつめられた「愛」は援助交際に走ってしまう。
久しぶりに出会う幼なじみ「長瀬」のさわやかな笑顔も、今の「愛」には空しく感じられるばかり……。出会い系サイトの罠が、「愛」を思わぬ苦しみに引きずり込んでいく……。

(参考3)他の研修用教材Webサイト
・@police(警察庁)「セキュリティ講座」<http://www.cyberpolice.go.jp/index.html>
・IPA、CEC Eスクエア・プロジェクト「ネット社会の歩き方」<http://www.cec.or.jp/net-walk/>等

(資料5) ワークシート
ワークシート 『出会い系サイトの罠』を見て

有害情報の危険性

その他の要点

個人情報の認識

家族との相談

情報発信者の責任

わかりにくい用語

【参考・引用文献】

- ・ 警察庁生活安全局少年課（企画）ビデオ『出会い系サイトの罠』2004

(参考4) Web教材「情報モラル教材2005」を使った実習の進め方

Web教材「情報モラル教材2005」を使った実習の進め方

「体験から学ぶ」 事例を体験する 「目的別に題材を探す」

ここをクリック

ここをクリック

ここをクリック

ここをクリック

「事例から学ぶ」 事例を見る 「目的別に題材を探す」

ここをクリック

ここをクリック

ここをクリック

「体験から学ぶ」 機能を体験する 「掲示板」「チャット」

体験から学ぶ 事例から学ぶ 授業素材 学校の取り組み 問題への対応

この教材を使った研修のすすめ方
 小学校の先生 中学校の先生 高等学校の先生 情報担当の先生 保護者の方へ

ここをクリック

このWebページはシミュレーションです。
 ・ページに掲載されている内容はすべて架空のものです。
 ・ページを更新(リロード)すると、画面が初期状態に戻ってしまいますので、
 操作途中での更新(リロード)は行わないでください。

タイトル：
 名前：
 e-mail：
 内容：
 書き込み リセット

ここをクリック

情報モラル
 トップ > 体験から学ぶ
 体験から学ぶ
 > このコーナーについて
 事例を体験する
 > 目的別に題材をさがす
 > 方法別に題材をさがす
 > 被害者・加害者別に題材をさがす
 > 全題材一覧
 機能を体験する
 > 掲示板
 > チャット
 > インターネットショッピング
 > オークション
 ▶ トップページにもどる

「授業素材」 授業素材を見る 「目的別に題材を探す」

体験から学ぶ 事例から学ぶ 授業素材 学校の取り組み 問題への対応

この教材を使った研修のすすめ方
 小学校の先生 中学校の先生 高等学校の先生 情報担当の先生 保護者の方へ

ここをクリック

ここをクリック

ここをクリック

インターネットの出会いのページで見知らぬ人に出会
 「出会い系サイト」には、趣味、仕事の仲間や結婚相手を探すものもあれば、援助交際など犯罪につながるものもあります。その危険性を理解し、健全な利用ができるように指導することが大切です。

対象校種
 学習時間
 1・2時間

情報モラル
 トップ > 授業素材
 授業素材
 > このコーナーについて
 授業素材を見る
 > 目的別に題材をさがす
 > 方法別に題材をさがす
 > 被害者・加害者別に題材をさがす
 > 全題材一覧
 ▶ トップページにもどる